



二 中 だ よ り



第38号 2024（令和6）年12月6日 発行責任者 加賀谷 登

12月の行事予定をお知らせします！

遅くなりましたが、12月の行事予定をお知らせします。7日（土）は数学検定があります。漢検や英検も含めて、挑戦する生徒が増えてきました。頑張ってください。8日（日）は、リサイクル用品回収日です。午前中3時間授業をした後、放課となり、午後からそれぞれの地域等で作業となります。保護者の皆様にもお世話になります。よろしくお願いいたします。11日（水）は、3年生の出前授業です。独占禁止法や公正取引委員会についての学習を行います。椿町中学校との4回目の交流学习も実施します。13日（金）は人権集会「みらい集会」を行います。コロナ禍でしばらく中止となっていましたが、5年ぶりの実施となります。16日（月）から19日（木）まで、三者面談があります。ご多用中とは存じますが、よろしくお願いいたします。17日（火）は、徳島県下一斉に「いじめ防止一斉授業」を行います。23日（月）は生徒会本部役員の改選があります。1・2年生のみなさん積極的に立候補してください。3年生のみなさんお世話になりました。24日（火）から1月6日（月）まで冬季休業日となります。1年の反省をすると共に、新年に向けて新たな目標を立ててください。冬季休業日中も部活動の公式戦等が入っています。しっかり頑張ってきてください。

健康管理をお願いします！

ようやく冬らしくなってきました。それとともに、体調を崩す生徒が増えてきています。県下では、インフルエンザによる学級閉鎖となった学校も出ているようです。全国的には、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、マイコプラズマ肺炎等が同時に流行している状況があるようです。本校では、まだ報告はありませんが、今後十分に気をつけていかなければと考えています。日頃のうがい・手洗いなどの感染防止対策や、早寝早起きと食事をしっかり摂る等の基本的な生活習慣を守って、この冬を乗り切ってください。

日	曜	12月の行事予定
1	日	家庭人権学習の日
2	月	全校集会⑥ ALT
3	火	後期中間テスト SC
4	水	後期中間テスト
5	木	後期中間テスト 給食後放課
6	金	地域別生徒会⑥ ひまわり号来校
7	土	数学検定8：30～
8	日	登校日 リサイクル用品回収
9	月	振替休業日
10	火	SC
11	水	ALT 3年出前授業⑤⑥ 椿町中学校との交流⑥
12	木	図書館サポーター 職員会
13	金	人権集会「みらい集会」⑤⑥
14	土	家庭読書の日
15	日	
16	月	三者面談 図書館サポーター
17	火	三者面談 徳島県いじめ防止一斉授業④
18	水	三者面談
19	木	三社面談 ALT
20	金	生徒会専門委員会・いじめ防止委員会 学校安全の日
21	土	中高生による人権交流事業
22	日	クリスマスミュージックフェスティバル
23	月	生徒会本部役員改選立会演説会③④ 全校集会⑤ 大掃除⑥ 図書館サポーター
24	火	冬季休業日開始（～1月6日）
25	水	県中学校卓球新人大会（団体）
26	木	
27	金	四国インドアソフトテニス大会（個人）
28	土	四国インドアソフトテニス大会（団体）
29	日	
30	月	年末休業日
31	火	年末休業日

※予定は都合により変更する場合がありますので、ご了承ください。

諸活動の報告

11月10日から11月16日

11月に県内の部活動大会や諸活動で表彰された人たちがいますので、紹介します。

徳島県中学校美術作品展 優秀賞 池添 永真
 徳島県中学校美術作品展 入選 江川 結菜
 徳島県中学校美術作品展 入選 清本 愛理

税についての作品 ポスター部門 会長賞 小谷 紗菜

阿南市文化祭科学作品展覧会 第二部 入選 井出 葉月
 阿南市文化祭科学作品展覧会 第二部 入選 笹田 真衣

令和6年度徳島県中学校ソフトテニス新人大会（女子団体）
 第3位 阿南第二中学校

言葉の力

12月2日（月）全校集会の校長講話より

今日は言葉の力について話をします。

先日の桂七福さんの講演、落語を聞いて腹の底から笑った人もいれば、思わずクスッと笑いを誘われた人もいただろうと思います。笑いの力は素晴らしいなあと思いました。それとともに、七福さんが話された言葉の力というものについても考えさせられる講演だったと思います。

たった一言が、生涯苦しめる言葉となることもあれば、たった一言が、人生を支える言葉となることもある。60歳になるけれど、5歳の時に言われた言葉が今も残っていると、話されました。これは決して誇張して言っているわけではありません。実際に何歳になっても心に傷となっている言葉というものはあるのです。

校長室に入って正面の壁の左側に、「たった一言が人の心を傷つける たった一言が人の心を暖める」とかかれた額があります。七福さんの話を聞いている時に思い出しました。もしかしたら、皆さんの中にも、「校長室に・・・」と思い出した人がいるかもしれません。この言葉は、使う場面や使い方の配慮を誤ると、たった一言が相手の心を大きく傷つけ、使う言葉に配慮することが、相手の心を温める効果があることをいっています。

たたかれるよりも、言葉で言われる方が傷つくことがあります。たった一言のもつ意味をしっかりと考えていかなければならないと思います。ネット社会と言われるようになって久しいです。SNSはますます発展していています。一方で、SNSでの誹謗中傷は跡を絶ちません。人を傷つける言葉は、友達であろうが家族であろうが、まったく知らないネット上の人であろうが、誰に対しても使ってはいけません。

言葉は人類が発明したもののの中で、非常に価値あるものです。この言葉によって、さまざまなことが時代を超えて引き継がれてきました。この言葉を武器にするのではなく、癒やしになる使い方をしなければいけませんね。

この一言を「行動」に置き換えてみても同じことが言えます。
「ほんの小さな行動が、人の心を傷つける。ほんの小さな行動が、人の心を温める。」

北原白秋の詩、「ひとつのことば」を思い出してみてください。小学校の時に、習ったのではないかと思います。

「ひとつのことばで	けんかして	ひとつのことばで	なかなか
ひとつのことばで	頭がさがり	ひとつのことばで	心がいたむ
ひとつのことばで	楽しく笑い	ひとつのことばで	泣かされる
ひとつのことばは	それぞれに	ひとつの心を	もっている
きれいなことばは	きれいな心	やさしいことばは	やさしい心
ひとつのことばを	大切に	ひとつのことばを	美しく」

最後に、最近、びっくりしたり衝撃を受けたりしたニュースがありました。そのニュースを二つ紹介します。一つ目は、オーストラリアで14歳以下の子どものSNS使用を禁止するニュースです。様々なSNSがあり、日常生活から切り離せなくなっているにもかかわらず、法律で規制するということにビックリしました。言い換えれば、それだけSNSによる被害が深刻だということです。被害の深刻さは、オーストラリアだけでなく、日本も他の国々も同様であることを忘れてはいけません。

もう一つは、自動車事故の被害で妻と子どもを失った男性に対する誹謗中傷で、14歳の中学生が書類送検されたというニュースです。誹謗中傷の内容を見ましたが、とって14歳の中学生が書いたものとは思えないような内容でした。SNSの使い方以前の問題も含まれていますが、SNSの使い方中学生が加害者になってしまってしまう怖さを実感しました。

私は、阿南第二中学校の生徒には、SNSによる被害者にも加害者にもなってほしくありません。SNSのもつ問題点を一人一人がしっかり理解して、正しく使うようにしましょう。